

## 令和3年度全国学力・学習状況調査における

### 北九州市立 吉田 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

#### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2. 調査内容

##### (1) 教科に関する調査(国語、数学)

###### 教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

##### (2) 生徒質問紙調査

###### 生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語, 数学)の結果

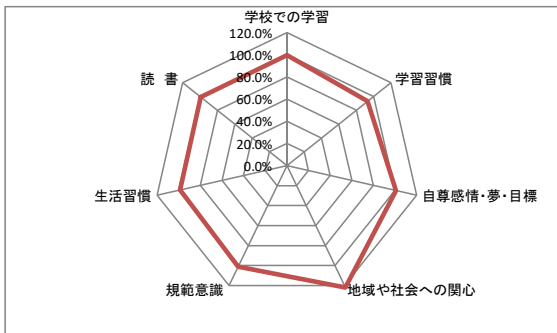
本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	8.8	55
全国	9.0	65	9.1	57

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	選択肢がある問題については全員が解答しており、問題に真摯に取り組もうとしていることがうかがえる。記述式の問題や短答式の問題では、無解答率が高い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫に対して自分の考えを述べる問題は、全国の正答率より上回っている。	
	努力が必要な問題	文脈の中における語句の意味を理解したり、場に応じて適切な敬語を使う問題は、全国の正答率より下回っている。	

数学	全体的な傾向や特徴など	加法減法の問題では全員が解答しているが、正答率は全国平均を下回っている。事柄が成り立つ理由や、問題解決の方法を数学的に記述式で説明する問題は、無解答率が高い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	与えられたデータから中央値を求める問題は、無解答率、正答率ともに全国の正答率を上回っている。	
	努力が必要な問題	数学的な見方や考え方に関する問題は、全国の正答率を下回っている。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ前であれば地域と連携した行事が多く、多数の生徒が積極的に参加していたため、地域や社会への関心は非常に高い数値を示している。</li> <li>・携帯電話・スマートフォン等の使用法について、家の人と約束したことを守っている人の割合が全国平均に比べて低い。また、自分の思っていることをきちんと言葉で表すことができる割合も低い。これはネット上のトラブルの原因にもなるので、携帯電話等を所持させる場合はご家庭で十分な配慮をお願いしたい。</li> <li>・自分で勉強の計画を立て、家庭学習に費やす時間は全国平均と比べると上回っている。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- ・朝自習で基礎・基本を繰り返し学習し、週末に朝自習テストをすることで定着させるようにする。
- ・小学校算数の学習内容の定着度に課題が見られる。このことから、小中で連携した補充学習ができるような体制を整えたり、AIDリルに積極的に取り組ませたりしていく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・マイトノート(1日1ページの学習課題)の取組は習慣化されてきているので、より一層の内容の充実を図る。
- ・読書の習慣は全国比とほぼ同等であるが、読解力につながっていないことがうかがえる。物語の内容をしっかりと考えながら作品を味わうように読み進める取組を図書館担当を中心に推進していく。